

中間標準レイアウト仕様
利活用ガイド
(2019年度版)

2019年4月

地方公共団体情報システム機構

中間標準レイアウト仕様 利活用ガイド

目次

はじめに	1
本書の構成	4
本書の利用方法	5
1章 中間標準レイアウト仕様について	6
1.1 中間標準レイアウト仕様とは	7
1.2 中間標準レイアウト仕様を利用するメリット	10
1.3 中間標準レイアウト仕様による調達	15
1.4 中間標準レイアウト仕様のデータ移行以外の活用	16
1.5 中間標準レイアウト仕様のデータ移行以外の活用(コンビニ交付)	17
2章 中間標準レイアウト仕様の解説	19
2.1 中間標準レイアウト仕様の定義	20
2.2 中間標準レイアウト仕様の記載内容	21
2.3 データ項目の「必須/任意」に関する注意点	29
3章 中間標準レイアウト仕様を利用したデータ移行	30
3.1 中間標準レイアウト仕様のデータ移行時における利用手順	31
3.2 予備領域の使用方法	38
3.3 データ移行の事例	42
4章 中間標準レイアウト仕様の活用案	86
4.1 中間標準レイアウト仕様の活用案	87
4.2 中間標準レイアウト仕様の利活用事例	99
5章 中間標準レイアウト仕様に関する質問回答集	101
5.1 中間標準レイアウト仕様を利用するに当たっての質問回答集	102
6章 中間標準レイアウト仕様の改定内容	136

6.1	中間標準レイアウト仕様 V1.0 から V2.0 への改定内容	137
6.2	中間標準レイアウト仕様 V2.0 から V2.1 への改定内容	140
6.3	中間標準レイアウト仕様 V2.1 から V2.2 への改定内容	142
6.4	中間標準レイアウト仕様 V2.2 から V2.3 への改定内容	144
6.5	中間標準レイアウト仕様 V2.3 から V2.4 への改定内容	146
6.6	中間標準レイアウト仕様 V2.4 から V2.5 への改定内容	149
< 参考資料1 >	中間標準レイアウト仕様の関連資料	152
< 参考資料2 >	中間標準レイアウト仕様に関する調達仕様書記載例	153
< 参考資料3 >	協力事業者	154

はじめに

地方公共団体の業務システムの更改において、特定の事業者が継続して業務システムを提供する状況、いわゆるベンダロックインが問題視されていた。これは、異なる事業者の業務システムに移行しようとした場合に、システムのデータ構成が異なることからデータ移行に多額の費用を請求されることがあり、財政的に厳しい地方公共団体では、事業者を変えたくても変えられない状況に陥ってしまうことである。このような状況から、総務省では平成 23 年度に地方公共団体の業務システムにおける円滑なデータ移行の実現を目指し、全国の地方公共団体がデータ移行時に共通的に利用できる「中間標準レイアウト仕様」を作成した（「自治体クラウドにおける円滑なデータ移行を可能とする中間標準レイアウト仕様の作成に係る調査業務」）。すなわち、業務システムの契約満了時に中間標準レイアウト仕様を利用したデータ提供を定着させれば、データ移行時の経費の低減が図れると考えたからである。

また、総務省は「電子自治体の取組みを加速するための 10 の指針」【指針 6】（平成 26 年 3 月公表）において、「システム間のデータ移行における多額の費用発生等、自治体クラウド導入の阻害・ベンダロックインの原因」を解消する方策として、中間標準レイアウト仕様の利活用を示している。

一方、地方公共団体情報システム機構（旧 地方自治情報センター）は、平成 25 年度から中間標準レイアウト仕様の維持管理及び利活用を検討する「中間標準レイアウト仕様の維持管理に関する検討委員会」の事務局を担当しており、法令改正等に対する定期的な更新や中間標準レイアウト仕様の普及に携わっている。

本利活用ガイドは、中間標準レイアウト仕様の普及促進のために、地方公共団体職員の方の理解と利活用の一助として作成したものである。

表 1 用語の定義

用語	定義
既存システム	現在使っている業務システムのこと。
次期システム	新しく使う業務システムのこと。
システム更改	既存システムから次期システムに変更すること。
事業者	業務システムを提供するベンダのこと。
データ移行	既存システムのデータベースから、次期システムのデータベースに業務データを移し替えること。
データ抽出	既存システムのデータベースから、業務データを特定のデータ表現形式で取り出すこと。
データ取込	次期システムのデータベースに、特定のデータ表現形式の業務データを取り込むこと。
データ提供	既存システムのデータベースから、データ移行以外の目的で業務データを受け渡すこと。
データ抽出ツール	データ抽出に使用するプログラムのこと。
データ取込ツール	データ取込に使用するプログラムのこと。
データ移行ツール	データ移行に使用するプログラムの総称であり、データ抽出ツールとデータ取込ツールの両ツールのこと。
移行データ	既存システムのデータベースから、次期システムのデータベースに移し替える業務データのこと。
移行ファイル	移行データをまとめたファイルのこと。
中間標準レイアウト仕様	中間標準レイアウト仕様とは、地方公共団体の業務システムを対象として、データ移行を円滑に行うため、移行データの項目名称及びデータ型、桁数、その他の属性情報等を標準的な形式として定めたデータ移行用の仕様。
自治体クラウド・モデル団体支援事業等	中間標準レイアウト仕様によるデータ移行やノンカスタマイズ等の助成要件を満たし、自治体クラウド促進に寄与すると考えられる市区町村(政令指定都市を除く。)を助成し、自治体クラウドへの取組過程や成果等の展開により、自治体クラウドの導入促進を図ることを目的として実施している事業。 平成 26～平成 29 年度「自治体クラウド・モデル団体支援事業」と平成 30 年度「自治体クラウド導入団体支援事業」を含む。

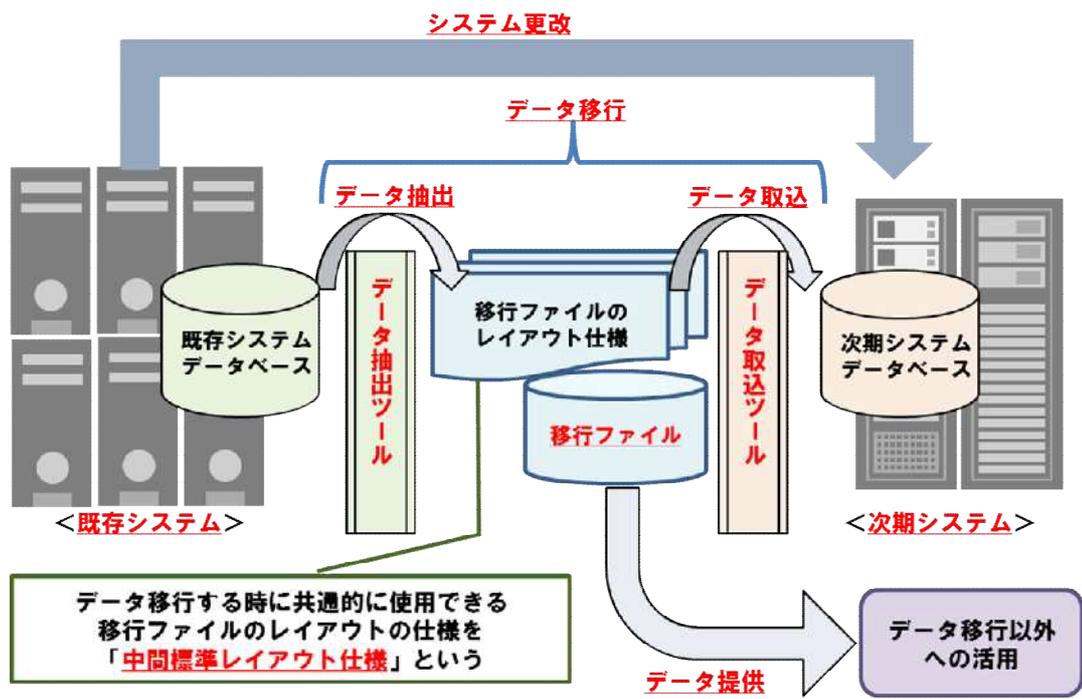


図 1 本書における用語の定義

本書の構成

【1章 中間標準レイアウト仕様について】

本章では、主に中間標準レイアウト仕様の利活用推進を目的として、中間標準レイアウト仕様を作成する意義、中間標準レイアウト仕様を利用するメリットや利用するに当たって準備すべき内容を説明する。

【2章 中間標準レイアウト仕様の解説】

本章では、地方公共団体の職員や、地方公共団体向けの業務システムを構築する事業者など、中間標準レイアウト仕様の概要や必要性を理解して、実際に中間標準レイアウト仕様を利活用する方を対象として、理解しておくべき基礎情報(中間標準レイアウト仕様における対象業務、中間標準レイアウト仕様の作成方針及びドキュメント構成)について解説する。

【3章 中間標準レイアウト仕様を利用したデータ移行】

中間標準レイアウト仕様をデータ移行に利用する時の手順、予備領域の使用方法、データの移行事例を示す。

【4章 中間標準レイアウト仕様の活用案】

中間標準レイアウト仕様をデータ移行以外の用途に活用する活用案、活用事例を示す。

【5章 中間標準レイアウト仕様に関する質問回答集】

中間標準レイアウト仕様の利用に当たって生じやすい疑問点について、回答を示す。

【6章 中間標準レイアウト仕様の改定内容】

中間標準レイアウト仕様の改定の経緯及び改定点を示す。

本書の利用方法

本書の利用方法(誰が、どのような時に、本書のどの部分を参照すればよいか)は、下表のとおりである。

表 2 本書の利用方法

本書の利用者	本書の利用場面	本書の参照部分 (章・節)					
		1章	2章	3章	4章	5章	6章
情報システム部署の担当者	・ 中間標準レイアウト仕様の概要について知りたい時						
	・ システム更改(自治体クラウド導入を含む)を検討し、調達仕様書を作成する時						
	・ 中間標準レイアウト仕様を活用する時						
業務所管部署(原課)の担当者	・ 中間標準レイアウト仕様の概要について知りたい時						
	・ システム更改(自治体クラウドの導入を含む)の時のデータ移行の方法について知りたい時						
	・ 中間標準レイアウト仕様の活用方法について知りたい時						
自治体クラウド推進事務局の実務担当者 (都道府県や一部事務組合等の担当者)	・ 中間標準レイアウト仕様の概要について知りたい時						
	・ 管内市町村に対して、自治体クラウド推進に必要な情報を提供する時						
	・ 管内市町村から、データ移行の経費について相談を受けた時						
	・ 管内市町村において、共同でオープンデータや民間委託などの推進や拡大を検討する時						
地方公共団体向けの業務システムを構築する事業者	・ 中間標準レイアウト仕様の概要について知りたい時						
	・ データ移行のためのツール開発の企画を検討する時						
	・ 中間標準レイアウト仕様を活用する時						

:主として参照する箇所

:必要に応じて参照する箇所